

## 寄附のお手続き

### 1 ふるさと納税制度の活用

#### ア 企業版ふるさと納税（県外企業のみ）

本社所在地が県外の場合、企業版ふるさと納税をご活用いただけます。寄附対象プロジェクトの欄で、『みんなで子育て』長崎子育て応援プロジェクトをお選び下さい。



#### イ 個人版ふるさと納税（ふるさと長崎応援寄附金）

寄附金の活用方法の欄で、「長崎県の子育て応援」をお選び下さい。



### 2 基金への直接寄附（納付書によるお支払い）

「寄附申込書」に必要事項をご記入の上、郵便、ファックス又は電子メールにおいてお申込み下さい。受付後、納付書等を送付いたします。

郵送 〒850-8570 長崎市尾上町3-1

長崎県 こども未来課 こども企画班

FAX 095-895-2681

メール kodomobasho@pref.nagasaki.lg.jp

詳しくはこちら



## 税制上の優遇措置

### 企業版ふるさと納税（県外企業）を活用した寄附

長崎県外に本社がある法人が寄附を行った場合、最大で約9割の税の軽減効果が得られます。 ※1回あたり10万円以上の寄附が対象



### 個人版ふるさと納税（ふるさと長崎応援寄附金）を活用した寄附

寄附額のうち2千円を超える部分について、所得税・個人住民税から全額が控除される制度です。

（一定の上限はあります） ※税制の優遇措置について、詳しくはお近くの税務署にお問合せ下さい ※県内在住者も活用可（返礼品なし）

所得や家族構成に応じて控除額が異なります。  
詳しくは右側のQRコードから確認下さい。

詳しくはこちら



### 長崎県こども未来応援基金への直接寄附

法人からの寄附 …… 寄附額が全額、損金算入、約3割の法人税等の軽減効果があります

個人からの寄附 …… 所得控除の対象となります（寄附額から2千円を引いた額で総所得の40％が限度）

※税制の優遇措置について、詳しくはお近くの税務署にお問合せ下さい



お問合せ先

長崎県 福祉保健部 こども未来課

〒850-8570 長崎市尾上町3-1

TEL : 095-895-2681

メール : kodomobasho@pref.nagasaki.lg.jp

WEBサイト



みなが咲き、  
ながさき。

# 長崎県こども未来応援基金

こどもが主役、  
みんなで育てよう



## わたしたちが めざしたいもの なぜつかったの？

いつの時代もこどもは社会の宝であり、未来への希望です。

こどもたちの未来は長崎県の未来そのものであり、「こどもたちへの投資を未来への投資」と捉え、将来を担うこどもたちが健やかに成長し、多様な活躍につながる社会を実現させたいと考えています。

こどもたちの健やかな成長を後押しするため、ぜひ、皆さまからの温かいご支援をよろしくお願いいたします。





# 長崎県こども未来応援基金とは

県では、「こどもが夢や希望を持って  
健やかに成長できる社会」の実現をめざし、  
新たに「長崎県こども未来応援基金」を設置しました。

本基金では、「こども場所」を充実させるため、

- ① こどもの居場所の立上げや
- ② ワクワクする様々な体験の提供

に対する支援に活用します。  
その他、こどもに関する様々な取組にも活用します。

## 基金活用の例

1  
こどもの居場所  
の立上げ

### 食や交流

(こども食堂や多世代交流など)



### 遊び

(遊びの見まもりなど)



### 学び

(学習支援やフリースクール・  
フリースペースなど)



2  
様々な体験の提供  
ワクワクする

### 自然体験



### 職業体験



### 先端技術の ふれ合い



その他  
こどもに関する  
様々な取組の例

### 保育人材の確保



### 子どもの 医療費助成



### 子育てに関する 意識醸成・気運の醸成



「こども場所」とは

- 安全・安心なこどもの居場所や
- ワクワクする様々な体験の総称だよ



## こどもが主役! 「こども場所推進プロジェクト」

### こどもを取り巻く背景

#### 地域コミュニティの変化



地域のつながりの希  
薄化、少子化の進展  
により、地域でこども  
が育つことが難しく  
なっています

#### 複雑・複合化した課題



虐待や、不登校・自  
殺者の増など、こども  
を取り巻く環境が  
厳しくなっています

#### 価値観の多様化



価値観の多様化に伴い、居場所のニ  
ーズも多様化して  
います

こどもの居場所を小学校区数設置

ワクワクする様々な体験が選べる環境

## こどもの安心と挑戦をサポート

安全・安心に過ごせる  
こどもの居場所が身近にある

安心

ワクワクする様々な体験

挑戦

## 安心と挑戦を循環

「こども場所」の現状について、  
県内の小・中・高校生に聴いてみました!

こどもたちはどう思ってるの?

- 自宅や学校以外に過ごせる「こどもの居場所」が足りない!  
「居場所が身近にある」と答えたこどもは、48%に留まっています



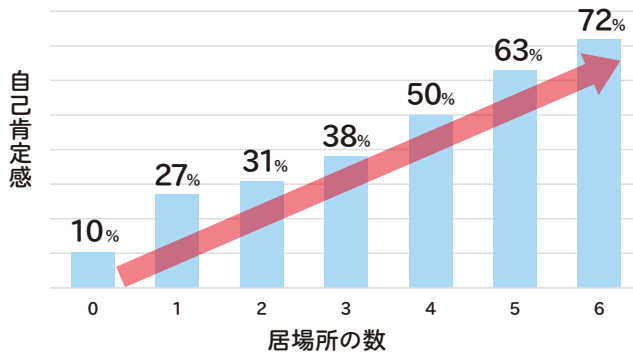
- 居場所では、  
好きなことを自由にやりたい!  
居場所でやりたいこと

- 1位 好きなことをして自由に過ごす.....60%
- 2位 外遊びなど身体を動かす.....32%
- 3位 一人でのんびり過ごす.....29%

例)  
●友達と  
おしゃべりしたい  
●自習したい  
●ゆっくり本を  
読みたい など

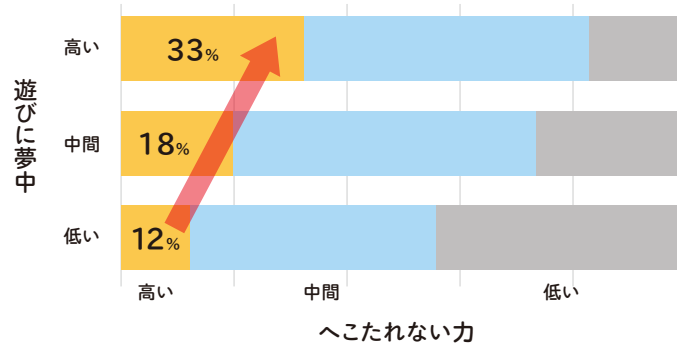
## なぜ、居場所や体験が必要なの?

- 居場所が多いほど、自己肯定感が高い傾向にあります



【内閣府 子供・若者白書(令和4年版)】

- 遊びに夢中だった人ほど  
社会を生き抜く力が高い傾向にあります



国立青少年教育振興機構「子供の頃の体験がはぐくむ力とその成果に関する調査研究」